

四国の災害復旧拠点として香川DCPの果たす使命

～香川地域継続検討協議会 設立3周年記念シンポジウム～

開催の目的

香川大学危機管理研究センターでは、四国地方で発生が予想される、南海トラフの巨大地震災害の被害に対応するため、関係機関と連携して、平成24年5月「香川地域継続検討協議会」を設立し協議を重ねてまいりました。香川地域継続計画(District Continuity Plan:DCP)の活動も4年目に入り、四国の災害復旧拠点として香川県下の各組織がどのような役割をどのように果たして行かなければならないか具体的な議論を行う時期に来ております。過去3年間は実務担当者による意見交換を行ってまいりましたが、今回は各市町の首長(平成26年度市長会代表と町村会代表)による意見交換を行うこととし、それぞれの基礎自治体で担うべき重要業務の早期復旧対策及び被災住民への支援のあり方を踏まえ、また自治体が抱える課題と対策を通して、今後どのような取り組みが必要なのか、さらに香川県が四国の災害復旧拠点として機能するためには市町間の連携が不可欠であり、そのあり方について首長の意見交換を行います。

日時 平成27年6月17日(水) 14:30~17:20 (受付14:00~)

場所 香川大学幸町キャンパス 多目的ホール (OLIVE SQUARE)

香川県高松市幸町1-1

-定員200名 (参加費無料) -

●挨拶 (14:30-14:40)

石橋 良啓 国土交通省四国地方整備局 局長

●第1部 活動報告 (14:40-15:10)

『四国の地域継続力向上を目指して～香川地域継続検討協議会の活動報告～』

白木 渡 香川大学危機管理研究センター長(特任教授)

●休憩 (15:10-15:20)

●第2部 パネルディスカッション (15:20-17:10)

『四国の災害復旧拠点として香川DCPの果たす使命』

コーディネーター 白木 渡 香川大学危機管理研究センター長(特任教授)

パネリスト 加藤 昭彦氏 高松市副市長

綾 宏氏 坂出市長

栗田 昭彦氏 まんのう町副町長

小野 正人氏 琴平町長

岩原 廣彦 香川大学危機管理研究センター 副センター長(客員教授)

●閉会挨拶 (17:10-17:20)

早川 茂 香川大学 理事

主催/香川地域継続検討協議会

共催/四国南海トラフ地震対策戦略会議・香川大学危機管理研究センター・土木学会安全問題研究委員会

四国の災害復旧拠点として香川 DCP の果たす使命
～香川地域継続検討協議会 設立3周年記念シンポジウム～

参加申込書

<FAX の場合は、この用紙に必要事項を記入してそのまま送信してください>

FAX 087-864-2549

■ 申込方法 電話、FAX または E メールでお申し込みください。

TEL 087-864-2544

FAX 087-864-2549

E-mail kikikanri@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

●ご記入いただく個人情報につきましては、今回のシンポジウム以外の目的で利用することはありません。

ご所属	ご芳名	連絡先	懇親会出欠
			ご出席 ご欠席

※定員になり次第締め切らせていただきます。

懇親会：シンポジウム終了後 17:30 より
会 場：教職員交流ラウンジ（シンポジウム会場 正面）
会 費：2,500 円

お問い合わせ 香川大学危機管理研究センター

〒761-0396 香川県高松市林町 2217-20

TEL 087-864-2544

FAX 087-864-2549

E-mail kikikanri@jim.ao.kagawa-u.ac.jp